



綜合警備保障株式会社
証券コード 2331

第55期 中間報告書

2019年4月1日
▼
2019年9月30日



代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO)

村井 温



株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの第55期第2四半期(2019年4月1日～2019年9月30日)の概況についてご報告申し上げます。

■ 事業環境について

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦等の影響を受け、大企業製造業を中心に企業の業況判断が悪化しています。加えて、中国経済の減速、英国のEU離脱問題をはじめとする欧州経済の混迷、半島情勢や中東情勢に見られる地政学的リスク、不安定な金融市場等を背景に、景気の先行き不透明感もさらに強まっています。

国内治安情勢につきましては、刑法犯認知件数は年々減少を続けているものの、高齢者・障がい者等を狙った凶悪な犯罪や特殊詐欺、ストーカー犯罪、登校中の子どもを狙った無差別殺人事件や女性に対する犯罪、高齢者ドライバーに起因する交通事故、7月には多数の死傷者を出した放火殺人事件が発生するなど身近な犯罪や事故が後を絶



代表取締役社長
最高執行責任者 (COO)

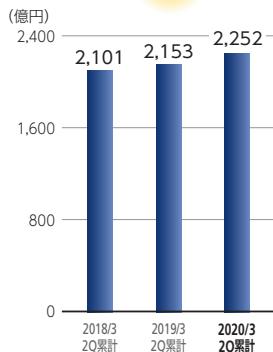
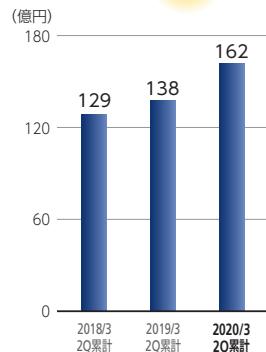
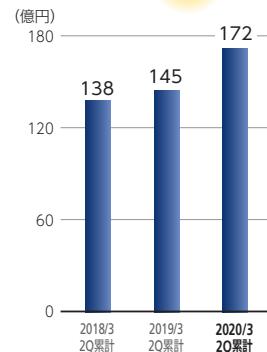
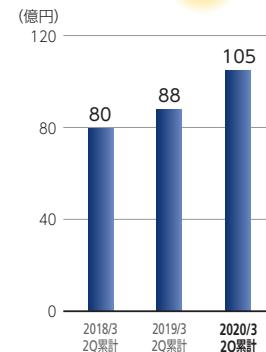
青山 幸恭

たない状況です。

また、9月以降、台風などの甚大な被害をもたらす自然災害が相次いでいるほか、国際テロ、サイバー犯罪や情報漏えい等、社会を取り巻くリスクは多様化しています。

■ 決算概要について

このような情勢の中、当社グループは、2018年5月策定の中期経営計画「Grand Design 2020」に掲げたとおり、お客様と社会の安全・安心を支える「総合安全安心サービス業」を目指して、多様化・高度化する一人一人のお客様と社会の安全・安心ニーズに応えるべく、セキュリティ事業とその関連事業の進化・深化に取り組んでいます。当社グループでは、ウェアラブルカメラなどのICT機器を装着した警備員「ALSOKハイパーセキュリティガード®」をはじめ、センサーや監視カメラ、ロボットなどさまざまなICT機器を駆使して立体的・複合的に監視する「ALSOKゾーンセキュリティマネジメント®」、会場スタッフ全員が「警備員の目」を持ち、セキュリティ共同体としてネットワーク化されたイベントの安全・安心な遂行を支える「ALSOKスタッ

売上高 **2,252**億円営業利益 **162**億円経常利益 **172**億円親会社株主に帰属する
四半期純利益 **105**億円

フ等連携システム™]等を導入し、より迅速な、そしてより広範囲にわたる警備力の向上とコストの最適化を実現させるサービスの展開を図っています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は2,252億4百万円(前年同期比4.6%増)、営業利益は162億22百万円(前年同期比16.9%増)、経常利益は172億56百万円(前年同期比18.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は105億74百万円(前年同期比20.0%増)となり、中間期ベースでは売上高、利益ともに過去最高を更新しました。

■ 主な取り組みについて

主力のセキュリティ事業につきましては、侵入、火災、設備等の監視、管理を備えたスタンダードなセキュリティシステム「ALSOK-ST (スタンダード)」、スタンダードな機能に加え、画像監視、出退勤情報等の閲覧、設備の遠隔操作をWeb上で行える機能等を備えた「ALSOK-GV (ジーファイブ)」、少子高齢化が進む社会に貢献するサービスとして高齢者を見守る「HOME ALSOK みまもりサ

ポート®]等の拡販に努めました。

総合管理・防災事業につきましては、グループ内での連携強化による各種施設の維持・管理・運営に関する総合的なマネジメント業務に注力し、介護事業につきましては、施設の稼働率向上に取り組みました。

また、常駐警備の高度化・効率化を実現する新たな警備ロボット「REBORG®-Z」の販売を開始したほか、経済産業省の「キャッシュレス・消費者還元事業」において、警備会社として唯一、B型決済事業者に指定され、QRコード決済サービスの提供にも取り組みました(6ページご参照)。

■ 今期の見通し

当社グループの第55期の連結業績予想は、売上高4,650億円(前期比4.8%増)、営業利益346億円(前期比7.2%増)、経常利益365億円(前期比7.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益230億円(前期比3.3%増)を見込んでいます。

株主の皆様におかれましては、何卒今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

業務別の状況

●セキュリティ事業

機械警備業務



法人向けでは、侵入、火災、設備等の監視、管理を備えたスタンダードなセキュリティシステム「ALSOK-ST (スタンダード)」、スタンダードな機能に加え、画像監視、出退勤情報等の閲覧、設備の遠隔操作をWeb上で行える機能等を備えた「ALSOK-GV (ジーファイブ)」等の販売を推進しました。

個人向けでは、住宅向けスタンダードモデルである「ホームセキュリティBasic」等の販売を推進しました。



売上高
853 億円

前年同期比
△ **1.1** %

常駐警備業務



人手不足を背景に製造業等の警備業務アウトソーシングや再開に伴う新築ビルの警備ニーズ等が引き続き拡大するとともに、人件費上昇を反映した値上げが浸透してきたほか、大規模警備等の短期契約も好調に推移しました。



売上高
583 億円

前年同期比
5.5 %

警備輸送業務



金融機関のATMや事務センター共同化等のアウトソースの受注が堅調に推移したほか、人手不足等を背景とした小売業等からの入(出)金機オンラインシステムの受注が好調に推移しました。



売上高
323 億円

前年同期比
4.6 %

○ 総合管理・防災事業

建物の総合管理や清掃業務等の長期契約に加えて、好調な建設需要を背景に、設備工事部門の完工高が好調に推移しました。



売上高
333 億円

前年同期比
20.4 %

○ 介護事業

施設の稼働率向上や前期に実施した株式会社ケアプラスの連結子会社化が売上に貢献しました。



売上高
136 億円

前年同期比
3.4 %

四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期末 (2019/9/30)	前期末 (2019/3/31)
(資産の部)		
流動資産	244,134	208,047
現金及び預金	52,066	53,875
警備輸送業務用現金	111,531	72,546
受取手形及び売掛金	50,926	54,926
その他	29,877	26,946
貸倒引当金	△ 267	△ 247
固定資産	203,278	202,066
有形固定資産	90,218	89,442
無形固定資産	32,460	33,059
投資その他の資産	80,600	79,564
投資有価証券	41,051	41,649
その他	39,972	38,356
貸倒引当金	△ 423	△ 441
資産合計	447,413	410,113

	当第2四半期末 (2019/9/30)	前期末 (2019/3/31)
(負債の部)		
流動負債	121,321	92,505
支払手形及び買掛金	20,925	22,993
短期借入金	53,842	15,269
未払法人税等	5,027	5,355
引当金	2,554	2,226
その他	38,972	46,660
固定負債	61,331	60,509
負債合計	182,653	153,015
(純資産の部)		
株主資本	245,127	238,097
資本金	18,675	18,675
資本剰余金	34,243	34,243
利益剰余金	193,279	186,248
自己株式	△ 1,070	△ 1,069
その他の包括利益累計額	△ 4,760	△ 5,015
非支配株主持分	24,393	24,016
純資産合計	264,760	257,098
負債純資産合計	447,413	410,113

四半期連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 (2019/4/1～ 2019/9/30)	前第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)
売上高	225,204	215,384
売上原価	170,147	162,949
売上総利益	55,056	52,434
販売費及び一般管理費	38,833	38,554
営業利益	16,222	13,879
営業外収益	2,193	1,825
営業外費用	1,159	1,183
経常利益	17,256	14,521
特別利益	26	3
特別損失	135	121
税金等調整前四半期純利益	17,147	14,403
法人税等	5,836	4,979
四半期純利益	11,310	9,424
非支配株主に帰属する 四半期純利益	735	608
親会社株主に帰属する 四半期純利益	10,574	8,815

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 (2019/4/1～ 2019/9/30)	前第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)
四半期純利益	11,310	9,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 215	△ 17
為替換算調整勘定	△ 36	△ 64
退職給付に係る調整額	545	822
持分法適用会社に対する持分相当額	△ 32	49
その他の包括利益合計	260	789
四半期包括利益	11,571	10,213
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,830	9,583
非支配株主に係る四半期包括利益	740	630

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計 (2019/4/1～ 2019/9/30)	前第2四半期累計 (2018/4/1～ 2018/9/30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,489	15,265
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,748	△ 8,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,580	△ 6,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 21	△ 7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 861	58
現金及び現金同等物の期首残高	43,435	40,484
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,573	40,572

詳細な財務情報のご案内



当社の財務状況に関する詳細な情報につきましては、当社Webサイト「株主・投資家情報」→「IRライブラリ」をご参照ください。決算短信、有価証券報告書、決算説明会資料・動画、統合(アニュアル)レポートなど、各種IR資料がご覧いただけます。

<https://www.alsok.co.jp/ir/library/>

常駐警備の高度化・効率化を実現する新たな警備ロボット 「REBORG®-Z」を販売開始

ALSOKは、高度化した犯罪への対応と常駐警備の効率化を実現する警備員協働型警備ロボット「REBORG®-Z(リボークゼット)」を開発、2019年6月より販売開始しました。

現在、「REBORG®-Z」は大型商業施設や空港などで稼働していますが、今後もイベントなど様々な場所での活躍を目指します。

REBORG®-Zの主な特徴

● 商業施設など人の往来する施設での安全な移動

夜間はもちろん、日中の人が往来する公共空間などにおいて自律移動による巡回監視を行います。また、防水防塵性の向上により、テラスや連絡通路などの屋外も走行可能となりました。

● 液晶タッチパネルと会話を用いたコミュニケーションとデジタルサイネージ

胸の液晶タッチパネルを使用した施設案内やデジタルサイネージ広告により、施設の利便性と付加価値の向上に寄与します。会話による案内も可能で、英語や中国語などの外国語にも対応しています。

● 警備の高度化、効率化を実現する警備機能

顔認証によるスクリーニングをはじめ、危険ガスや不審物の置き去り検知、サーモカメラを活用した夜間の侵入者検知など最先端の警備技術を搭載。また、AED搬送や火災検知・初期消火機能など防災・減災の面でも貢献します。



「キャッシュレス・消費者還元事業」への決済事業者登録完了のお知らせ

ALSOKは、経済産業省の「キャッシュレス・消費者還元事業」において、キャッシュレス加盟店支援事業者(B型決済事業者)として登録されました。

これを受けALSOKは2019年6月より、中小・小規模事業者に対し必要に応じてマルチQRコード決済手段を提供し、本事業への参加申請を受け付け、補助金事務局に登録を行うとともに、補助金事務局を通じて店舗への端末導入補助や手数料補助を実施しました。

<補助対象および補助内容>

- 対象：キャッシュレス・消費者還元事業に参加申請し、補助金事務局にて登録受理された中小・小規模事業者。
- 内容：マルチQRコード決済に適したモバイル決済端末の無償貸与。決済手数料を3.25%(税込)以下へ引き下げ、さらに国が引き下げ後の手数料の1/3を補助。



「ALSOK QRGate」を
搭載した端末

【ALSOK QRGate】一つのアプリで、[LINE Pay][d払い][PayPay][Origami Pay]等(今後も順次拡大)の国内QRコード決済の他、海外QRコード決済の[Alipay][WeChatPay]に対応するマルチペイメントゲートウェイアプリです。このアプリをダウンロードした端末は、消費者が提示するワンタイムQRコードをスキャンすると自動的にどのペイメントかを識別し、決済することができます。

大規模イベントへの対応

● ラグビーワールドカップ2019日本大会 (2019年9月～11月)

ALSOKは、ラグビーワールドカップ2019日本大会において、開幕戦の東京スタジアムを皮切りに、全12会場の臨時警備を実施しました。

主な業務は、会場内の手荷物保安検査、出入管理、巡回業務に加えて、主要駅からスタジアムまでの動線上で来場者を円滑に誘導するなど大会運営に貢献しました。



【ALSOKスタッフ等連携システム™】



ALSOKは本大会において、職員等会場スタッフがスマートフォンの警備連絡用アプリで監視センターとつながる「ALSOKスタッフ等連携システム™」を導入しました。

スタッフの「ちょっとおかしいな」、「いつもと違うな」といった気づきをアプリ経由で監視センターにリアルタイムで集約させ、即座に最寄りの警備員が対応する仕組みを構築することで、イベントの安全・安心な遂行を支えます。

● G20大阪サミット (2019年6月)

ALSOKは、主要20カ国首脳その他、招待国、国際機関などの代表が参加した金融・世界経済に関する首脳会合「G20大阪サミット」において、準備期間を含めた75日間にわたり臨時警備を実施しました。

ALSOKからは約500名が警備責任者および手荷物検査員として任務にあたり、困難な警備を完遂しました。



手荷物検査の様子

社会的責任投資指標「FTSE4Good Index Series」と 2つのESG投資指数に選定

ALSOKは、社会的責任投資(SRI)*1の代表的な指標である「FTSE4Good Index Series」に12年連続で選定されました。加えて、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)がESG投資のベンチマークに採用しているESG投資指数の構成銘柄にも継続して選定されました。

FTSE4Good Index Series

ロンドン証券取引所の100%出資子会社であるFTSE Russell社*2が、ESGの観点から社会的責任を果たしていると認められた企業を選定する指標であり、当社は12年連続でこの指標に選定されました。



FTSE4Good

FTSE Blossom Japan Index

FTSE Russell社が構築した、ESG(環境、社会、ガバナンス)の対応に優れた日本企業を選定する指数であり、当社は3年連続で選定されました。



FTSE Blossom
Japan

MSCI ジャパン ESG セレクト・リーダーズ指数

米国MSCI社*3が構築した、ESGの対応に優れた日本企業を選別して構成される指数であり、当社は3年連続で選定されました。

MSCI



2019 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

*1 社会的責任投資(SRI: Socially Responsible Investment)とは、個人や機関投資家が投資を行う際に、従来の財務分析による投資基準に加え、ESG(環境、社会、ガバナンス)における企業の取り組みを考慮して行う投資手法のこと。

*2 FTSE Russell社は、ロンドン証券取引所の100%出資子会社で、インデックスの構築と管理を世界規模で展開する企業。

*3 MSCI社は、米国・ニューヨークに拠点を置く金融サービス企業で、ニューヨーク証券取引所に上場しており、インデックスの開発・提供を世界規模で展開するプロバイダー。

● ALSOKのMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIロゴ・商標・サービスマークまたはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関係会社によるALSOKへの後援、保証、販売促進ではありません。MSCIおよびMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

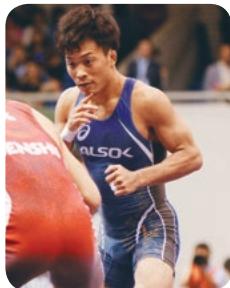
ALSOKスポーツ活動

レスリング

2019年シニア世界レスリング選手権大会

2019年9月14日から22日にかけて、カザフスタン共和国(ヌルスルタン)において2019年シニア世界レスリング選手権大会が開催されました。

ALSOKからは5名の選手が出場し、太田忍選手(グレコローマンスタイル63kg級)が見事優勝しました。



太田 忍 選手

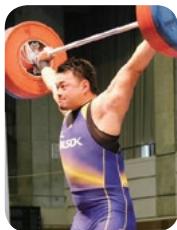
ウエイトリフティング

第79回全日本ウエイトリフティング選手権大会 第33回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会 《2019年5月24～26日》

笠井 武広 選手 男子 81kg級 優勝
持田 龍之輔 選手 男子109kg級 優勝
八木 かなえ 選手 女子 55kg級 優勝
松本 潮霞 選手 女子 64kg級 第3位



笠井 武広 選手



持田 龍之輔 選手



八木 かなえ 選手

日本ウエイトリフティング協会

柔道

2019世界柔道選手権東京大会

2019年8月25日から9月1日にかけて、日本武道館において2019世界柔道選手権東京大会が開催されました。

ALSOKからは向翔一郎選手(男子90kg級)が出場し、順当に勝ち上がりましたが、決勝戦で惜しくも敗れ第2位となりました。

また、男女混合団体戦では、向選手は控えに回り出場の機会はありませんでしたが、日本チームが見事優勝し、連覇達成となりました。



向翔一郎 選手

陸上

第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 《2019年9月20～22日》

藤澤 勇 選手 10000m競歩 第3位

ライフル射撃

全日本選抜ライフル射撃競技大会(50mライフル) 《2019年4月13～14日》

湯浅 菜月 選手 3姿勢小口径火薬銃 第4位
岡田 直也 選手 3姿勢小口径火薬銃 第11位

皆様の温かいご声援、誠にありがとうございました。

会社概要 (2019年9月30日現在)

社名: 総合警備保障株式会社
(SOHGO SECURITY SERVICES CO., LTD.)

本社: 〒107-8511 東京都港区元赤坂1-6-6

設立: 1965年7月16日

資本金: 18,675百万円

事業所: 本社・64支社・37支店・253営業所

取締役および監査役 (2019年12月1日現在)

代表取締役会長
最高経営責任者 (CEO) 村井 温

代表取締役社長
最高執行責任者 (COO) 青山 幸恭

代表取締役副社長 栢木 伊久二

取締役 穂苅 裕久

取締役 村井 豪

取締役 野村 茂樹

取締役 八木 雅人

取締役 鈴木 基久

取締役 (社外) 岩城 正和

取締役 (社外) 小野 誠英

取締役 (社外) 門脇 英晴

取締役 (社外) 安藤 豊明

常勤監査役 高野 明

常勤監査役 (社外) 中野 慎一郎

監査役 (社外) 大岩 武史

監査役 (社外) 上野山 実

執行役員 (2019年12月1日現在)

社長執行役員	青山 幸恭	常務執行役員	鈴木 一三
副社長執行役員	栢木 伊久二	常務執行役員	水谷 紀彦
専務執行役員	穂苅 裕久	執行役員	百武 尚樹
専務執行役員	村井 豪	執行役員	吉田 浩儀
常務執行役員	野村 茂樹	執行役員	小野 誠司
常務執行役員	八木 雅人	執行役員	吉本 康弘
常務執行役員	鈴木 基久	執行役員	熊崎 善夫
常務執行役員	重見 一秀	執行役員	高橋 賢
常務執行役員	熊谷 敬	執行役員	長嶋 義春
常務執行役員	岸本 孝治	執行役員	小森 篤

(2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 300,000,000株

発行済株式の総数 102,040,042株
(自己株式 781,951株を含む)

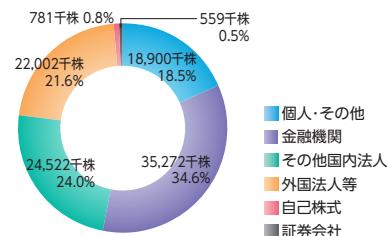
株主数 11,912名

大株主(上位10名)

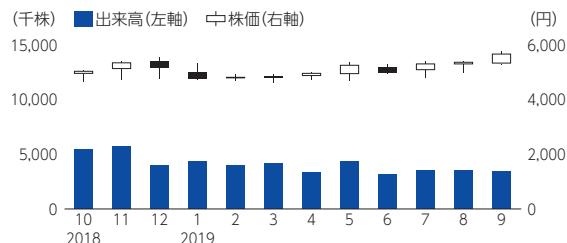
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
総合商事(株)	7,388	7.29
埼玉機器(株)	5,283	5.21
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,926	4.86
みずほ信託銀行(株)退職給付信託みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	4,261	4.20
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	4,181	4.12
かまくら商事(株)	4,150	4.09
総合警備保障従業員持株会	3,985	3.93
きずな商事(株)	2,950	2.91
村井 温	2,885	2.84
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	2,800	2.76

注: 持株比率は自己株式(781,951株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数)



株価チャート・出来高推移



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

配当金計算書について

配当金お支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

お問い合わせ先

株式事務に関するお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)
総合警備保障株式会社 総務部総務課
TEL : 03-5410-4428
E-mail : soumu@alsok.co.jp

事業内容に関するお問い合わせ

総合警備保障株式会社 IR室
TEL : 03-3423-2331
FAX : 03-3470-1565
E-mail : alsok-ir@alsok.co.jp



ALSOK ホームページ <https://www.alsok.co.jp/>



環境に優しい植物性大豆インキを使用しております。